

「防犯カメラ作動中」 設置路線」看板を設置

馬路町では、犯罪抑止、犯罪確証を狙いとして、府道沿い、市道沿いに、防犯カメラを平成28年度から順次設置してきました。

現在、基地としては7基地、カメラ数としては21台を配備。警察からの照会も何回もあり、犯罪者逮捕につながったケースもあります。

今回、「防犯カメラ作動中」「防犯カメラ設置路線」2種類の木製看板を設置。車両のスピード抑制、犯罪防止に効果を発揮し、安全安心なまちづくりに寄与できるものと思います。



川東保育所園児・イチゴ狩りに夢中

川東保育所の園児が、今年も畑貢さんご夫婦が丹精込めたイチゴ畑でイチゴ狩りを楽しみました。貢さんから、「良い子の皆さん、赤くなった美味しそうなイチゴを好きなだけ摘んで食べて下さい」のあいさつの後、園児の皆さんは次々と赤々と美味しそうなイチゴを摘んでいました。

中にはまだ青いイチゴを口に入れ酸っぱそうな顔をしながらも、喜々として夢中でイチゴを摘む園児の姿がありました。

大収穫！ 畑貢さんご夫婦に感謝！



イチゴ狩り(うつわにイッパイ)

新型コロナウイルス禍で自粛(中止・延期・規模縮小)した 自治会行事・各種団体行事等について(4~9月分)

- 自治会行事：
 - 4月・消防団入退団式(規模縮小)
 - 4月・戦没者慰霊祭(規模縮小)
 - 4月・自治会議員・区長・民生児童委員交流会(中止)
 - 5月・自治会議員・正副区長・隣組長合同会議(規模縮小)
 - 5月・馬路ふれあいサロン(延期)
 - 6月・川東地区人権啓発推進協議会(中止)
 - 6月・グラウンドゴルフ大会(延期)
 - 7月・地域懇談会(中止・文書要望)
 - 8月・町民運動会実行委員会(中止について書面決議)
 - 9月・敬老会(行政通達により中止、記念品を贈る)
- ※亀岡川東学園・川東保育所運動会(規模縮小)

- 各種団体行事：
 - 4月~8月の行事の全てが中止。
 - ※体振総会・体振ふれあいソフトボール大会中止
 - ※元馬路・三ッ辻区盆踊り、池尻区夏祭り中止

今後の行事予定 令和2年9月~12月末

- 9月 7日：亀岡市総合防災訓練(中止)
- 9月17日：八幡宮社秋の祭典
- 10月 3日：馬路町文化祭実行委員会
- 10月25日：町内空き缶収集等一斉清掃
- 11月 1日：町民文化祭(規模縮小・内容一部変更)
- 12月 5日：馬路町人権研修(中止)
- 12月25日：馬路町防犯推進委員年末警戒
- 12月28日：年末特別警戒
- (自主防災会・防犯推進委員馬路支部)
- 12月28.29日：年末特別警戒(消防馬路分団)

自治会議員奮闘

自治会活動のほとんどを自粛してきた事を受けて、男性自治会議員の皆様が、従前から気になっていたこと、即ち、松の木等プロの剪定が必要なものを除いて、素人だからこそ思い切った剪定が出来るという観点から、自治会敷地内及び自治会管理地内の樹木の剪定を行って頂きました。見通しも良くなり、すっきりしたと周辺住民の皆様から感謝されています。

また、いろんなものが雑然と収納されていた倉庫の片付けや収納棚の設置、玄関前掲示板の改修、防犯カメラ看板の設置等、馬路町の快適で安全安心なまちづくりに積極的な活動をお世話になりました。 ※なお、女性議員につきましても、高齢者の見守り活動、自治会内外環境整備、各種文書整理等、日常にお世話になっています。



あとがき
表紙の自治会玄関前写真に写る両サイドの黄色い大きな花は「ウンナンチュウキンレン」という非常に珍しい鑑賞用植物です。

「地面から湧いてきた金色のハス」のような姿にあやかっつて、新型コロナウイルス禍を防ぐご利益を、そして早期の収束を願って今日も水やり。

残暑お見舞い申し上げます。

- 編集委員長 中澤 基行
- 副委員長 中川 俊和
- 委員 畑 一人
- 委員 中澤 一二美
- 委員 八木 千賀子
- 委員 人見 和男
- 委員 河原 朋美



馬路生涯学習センター玄関前

発行者：馬路町自治会 令和2年9月1日 亀岡市馬路町流川2-1 (TEL:0771-22-0661) 印刷：(株)天声社

自治会長あいさつ

新型コロナウイルス感染症拡大防止を受けて、例年の行事・事業展開が出来ない時であればこそ、より住みよい馬路町のまちづくりには必要ではあるものの、これまで手をつけられなかった二つの問題解決に向けて、取り組んでいく考えであります。

一つは、65歳以上の高齢者家族台帳の整理を行います。詳細については、3ページをご覧ください。なお、この家族台帳整理の際に、合わせて、最終的なその世帯の有り様について、人権・固有の権利等は十二分に尊重しながらも、当該者及びその関係者の元気なうちに、自治会として踏み込んだ協議が出来ると考えます。このことにより、空き家・荒地となることを少しでも防ぐことが出来、かつその資源の有効活用が図れ、地域活力を維持、更には取り戻すことが出来るのではと考えます。

の組織体制の早期の確立であります。詳細については、3ページをご覧ください。このことにより、基幹産業である農業を地域の主要産業として持続させると共に、付加価値を持たせた事業化等も図り、地域雇用の場の確保を目指す考えです。この二つは、まさに馬路町の喫緊の課題であります。円滑に取り組みが進みますように、町民の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに当たり、コロナ対策で今、私たちが気をつけなければならぬことは、私達誰もが感染者になり得る可能性があり得る。従って、我々一人ひとりが互いの立場で励まし支え合いながら、みんなが一体となつてこの難局を乗り越えていくことが重要です。これからは新型コロナウイルスとの共生が必然的に求められる社会だと考えます。そのため間違つても、感染者あるいはその家族等に対して、いわば犯罪者扱い(誹謗・中傷や差別的な言動は重大な人権侵害となる)は、決して許されないという点であります。お互い心しまししょう。

人見英作氏 黄綬表彰受賞

高校に通いながら、お兄さんの人見正毅さんの牛舎の手伝いに始まり、24歳で独立。今年で丸55年という酪農一筋の人生。その間、昭和51年には牛舎が全焼する(町民170人余りの後片づけ手伝いへの感謝の気持ち)が再起の力となったこと(等)等の幾多の困難に遭遇するも、南丹市、亀岡市の酪農家のリーダー的存在として活躍。

その間、搾った乳のパイプライン化の導入、ヘルパー組織の立ち上げ、障害者雇用促進の呼びかけに際して、6人の障害者を雇用する等の先駆的な取り組みをされました。また、近年は、若手の育成にも力を注ぎ学生の職場体験等、後継者の育成にも尽力。高度な技術力と経験力を活かし、農業振興あるいは社会福祉活動に長年にわたり取り組んでこられたこと。更には、亀岡市農業委員、現在はJ A京都理事、亀岡市農業公社理事、J A京都酪農部長等の要職に就く等、日頃の積極的な地域活動への功績が評価され、このたび京都府の推薦を経て名誉ある「黄綬表彰」を受賞されました。

亀岡市の農業関係者では三人目の名誉ある受賞となります。人見英作氏の長年のご活躍に敬意を表しますと共に、奥さんの由紀子さんの内助の功にも拍手を送り、心から受賞のお祝いを申し上げます。今後ともお元気でご夫婦共々ご活躍下さいます。



受賞を自治会長に報告



受賞を市長に報告